

令和8年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」仮申請関係様式

都道府県名	39_高知県
市区町村名	39363土佐町
自治体区分	市町村(組合を含む。)

根拠

●令和8年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和8年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和7年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	目標の数値	本年度の実績値	本年度の目標値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
39363土佐町	①学校運営上の課題	04 障害や困難を抱える児童生徒への対応	日常的に支援が必要な児童がおり、個別の対応を行うなど教職員が児童に向き合う時間が必要であるが、学校行事の準備や雑務等に追われ十分な時間が確保できていない。	・地域学校協働活動推進員を常時3名体制で学校に常駐する。 ・教職員が担わなくてもよい業務については、協働活動リーダーを日常的に学校に配置して対応する。 ・推進員は町内にある団体や地域住民と調整のもと、学校行事に係る計画及び準備、実施を行う。	・地域学校協働活動推進員の常駐化により、学校と密に情報共有等を行うことで学校が課題に感じている物事について、効果的に対応できる体制を作る。	子どもたちの教育環境の向上を目指して、日常的な児童の学習支援及び給食時の対応や授業準備等の補助的業務を実施し、教職員の業務負担軽減を行う。	地域学校協働活動が教員の負担軽減に寄与している実感がある教員の割合	90	%	95			
39363土佐町	③学校と家庭の課題	02 放課後等における多様な体験活動	家庭内で電子機器等を使用する頻度が増え、自然を通じた活動や地域性のある様々な体験活動が行えていない課題がある。	・地域学校協働活動推進員を常時3名体制で年間200日以上配置、常駐化することで体験活動の計画及び実施を行う。 ・体験活動等を実施できる地域住民や関係団体の協力を得るなど、地域全体と協働して幅広い体験活動の機会を創出する。	・関係機関や社会教育団体等に協力依頼することで、地域学校協働活動推進員の負担過多とならないよう、持続可能な体験活動を行う。	これまで以上に多様な体験活動の機会を創出することで、児童にとって放課後子ども教室への参加をより有意義なものとし、幅広い地域住民との交流を図る。	平日及び長期休暇中の放課後子ども教室における、定期的かつ継続的な体験活動等の年間実施数	10	回	15			

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。